

富山市教育委員会会議録

平成30年12月定例会

- 1 日 時 平成30年12月25日(火曜日)
午後 3時30分 開会
午後 4時40分 閉会
- 2 場 所 本庁7階 教育委員会室
- 3 出席委員 教 育 長 宮 口 克 志
委 員 若 林 啓 介
委 員 藤 井 久 丈
委 員 尾 畑 納 子
委 員 高 田 健
- 4 説明のために出席した者
事務局長 立 花 宗 一
事務局次長（総務・社会教育担当） 酒 井 秀 祐
事務局次長（学校教育担当） 高 木 健 吉
教育総務課長 光 岡 伸 一
参事（統合校整備等推進室長） 岸 重 臣
学校施設課長 佐 伯 誠 司
学校教育課長 豊 田 高 久
学校保健課長 古 川 安 代
生涯学習課長 竹 井 博 文
大沢野教育行政センター所長 中 川 忠 法
八尾教育行政センター所長 飯 田 勉
- 5 職務のため会議に出席した事務局職員
教育総務課主幹 平 井 聖 子
教育総務課課長代理（管理係長） 桑 名 純 一
教育総務課主査 日南田 司
- 6 傍聴人数 0人

7 付議案件

(1) 議案

議案第43号 富山市教育委員会人事について

(2) 報告事項

報告事項40 富山市教育委員会人事について

報告事項41 委託契約締結（富山市立小・中学校空調整備業務）について

報告事項42 12月市議会定例会における質問の概要について

報告事項43 富山市教育振興基本計画（案）について

報告事項44 富山市立小見幼稚園の園児募集の結果について

報告事項45 学校施設の耐震化について

(3) その他

その他24 平成31年度当初予算要求について

8 会議の要旨

【開会】

[教育長] 開会を宣言する。
本日は委員全員の出席があるため、会議は成立している。

【前回会議録について】

[教育長] 11月教育委員会定例会会議録について意見等を求める。
[各委員] (意見なし)
[教育長] 意見なしのため、前回会議録は承認された。

【非公開案件について】

[教育長] 議案第43号、報告事項40については、人事に関する案件であるため、その他24については、現在予算案の編成作業中で未決定であるため、非公開としたいが、よろしいか。
[各委員] 異議なし。
[教育長] 承認を得られたので、議案第43号、報告事項40、その他24に

については非公開とし、報告事項４５の後に行うこととする。

【報告事項４１】

- [教育長] 報告事項４１について事務局から説明を求める。
[学校施設課長] (報告事項４１について説明)
[教育長] 本件について、質問等はあるか。
[各委員] 質問等なし。

【報告事項４２】

- [教育長] 報告事項４２について事務局から説明を求める。
[教育総務課長] (報告事項４２について説明)
[教育長] 本件について、質問等はあるか。
[若林委員] 学校給食について、輸入食材を減らすべきではないかという質問があったが、どのような意図があったのか。
[学校保健課長] 新聞で、滑川市では学校給食における地元食材の使用率が５０％以上という報道があったことから、富山市における地元食材の使用率が低いのではないかと、という意図があったと思われる。
[藤井委員] 学校周辺地域の食材を使って献立を作成するような取り組みは行っているのか。
[学校保健課長] 基本的に献立は各学校共通だが、学校の畑などでサツマイモ等を収穫した際は、その学校だけ献立を変更し給食で取り入れるといったことも行っている。
[藤井委員] 普段の献立で、地域の食材を優先して使うように配慮することは可能なのか。
[学校保健課長] 現実的に難しい。
[尾畑委員] 地産地消という考え方は地域振興の面から見ても重要だが、多種多様な食材を献立に取り入れることで子どもの食の豊かさを育むことも重要である。様々な視点から見て総合的に判断した結果、現在の輸入食材や県外産食材の使用率であるということであれば問題ないと思う。市としても、地元食材を給食で使用する際には、テレビや新聞など様々なメディアにアピールする工夫も必要ではないか。
[高田委員] L G B Tについての教職員への研修について、研修にはどれくらいの人数が参加しているのか。

- [学校教育課長] 市内小中学校91校から各1名ずつ参加している。
- [藤井委員] 色覚異常の疑いのある児童生徒に対する配慮について質問があったが、教職員にも色覚障害を持つ人はいると思われるが、その方々に対して何らかの配慮はされているのか。化学の実験などで困ることもあるのではないか。
- [学校教育課長] 学校教育課としては、実際に何らかの配慮をしているといった具体的な事例は把握していない。
- [教育長] 以前は小学4年生を対象に色覚検査が実施されていたが、平成15年度に健康診断の必須項目から削除されたため、それ以降は実施していなかった。当時、検査が行われていなかった小学4年生は現在25歳くらいであるため、自身が色覚の特性を知らないまま、教員となるケースが発生している可能性はある。私自身が県教育委員会にいたときは、教員採用試験の項目に色覚検査は含まれていなかったと記憶している。委員から指摘のあった内容について、任命権者である県教育委員会へ情報提供していきたい。
- [藤井委員] 教員に色覚異常があった場合、どのような不都合が生じるのか。
- [教育長] 授業では、基本的に文字は白または黄色で書き、囲みや線は赤を使うなど統一しているが、その際の色を判別を誤る可能性はある。また、資料集等に記載されている色が判別できないことも考えられる。
- [尾畑委員] ユニバーサルデザインのチョークがあると聞いたことがある。
- [学校教育課長] 様々な色覚の特性をもつ児童生徒に対して、色の識別がしやすいよう、色の明るさや鮮やかさを考慮したチョークがある。チョークの選定・調達には各学校で行われており、これまでも、養護教諭の研修会で紹介してきたが、今後は校園長会等においても、チョークを選定する際の選択肢の一つとして紹介していきたいと考えている。

【報告事項43】

- [教育長] 報告事項43について事務局から説明を求める。
- [教育総務課長] (報告事項43について説明)
- [教育長] 本件について、質問等はあるか。
- [藤井委員] スクールサポーターとスクールガードリーダーとあるが、具体的にどのような違いがあるのか。
- [学校教育課長] スクールサポーターは、小中学校において特別な配慮や支援を要する児童生徒の支援にあたることを目的としており、教員OBなど

を任命している。スクールガードリーダーは、通学路の安全確保等について学校へ指導助言等を行うことを目的としており、警察OBなどを任命している。

[尾畑委員] 「1－(10) 現代的・社会的課題に対応した学習等の充実」について、環境に関する内容は記載されているが、SDGsの17の達成目標は環境に限ったものではないため、その他のものについても触れる必要があるのではないか。また、「主体性をもった人を育てる」といった内容を含められないか。

[若林委員] 「2－(13) 安心・安全な学校教育環境の整備」について、幼稚園の適正規模・適正配置については具体的に触れているが、小中学校の適正規模・適正配置についてはあまり触れられていない。教育振興基本計画と教育大綱のどちらで言及すべきなのかわからないが、文部科学省からもガイドライン等が示されている中で、市教育委員会としても言及すべき時期にきているのではないか。例えば、複式学級の解消などについて積極的に取り組むなど、何らかの形で姿勢を示す必要があるのではないか。

[尾畑委員] 「4－(16) 高等教育機関の充実」について、市立の外国語専門学校とガラス造形研究所についてのみ記載されているが、市が協定を締結している高等教育機関との連携についても記載してはどうか。

【報告事項44】

[教育長] 報告事項44について事務局から説明を求める。

[学校教育課長] (報告事項44について説明)

[教育長] 本件について、質問等はあるか。

[各委員] 質問等なし。

【報告事項45】

[教育長] 報告事項45について事務局から説明を求める。

[学校施設課長] (報告事項45について説明)

[教育長] 本件について、質問等はあるか。

[各委員] 質問等なし。

[教育長] 非公開案件に移る。傍聴、マスコミの方はご退席願う。

《以下、非公開事項のため概要のみを記載する》

- [教育長] (議案第43号について事務局から説明を求める。)
- [教育総務課長] (議案第43号について説明する。)
- [教育長] (議案第43号についての採決について、各委員に諮る。)
- [各委員] (議案第43号について同意する。)
- [教育長] (議案第43号について、原案のとおり可決したことを報告する。)
-
- [教育長] (報告事項40について事務局から説明を求める。)
- [教育総務課長] (報告事項40について説明する。)
-
- [教育長] (その他24について事務局から説明を求める。)
- [教育総務課長] (その他24について説明する。)

【閉会】

- [教育長] 閉会を宣言する。